



9月7日は

セラピューティック・ケアの日です

1999年9月、当時、福岡県赤十字奉仕団の委員長として活動していた秋吉美千代（当時60歳）が、5年間のボランティア活動で生じた課題や疑問を解決するために、ルーツであるイギリスを訪問。翌7日、英国赤十字社で受けた研修で、「これこそが自分の求めていたケアだ」と雷に打たれたような感動を受けます。それが、セラピューティック・ケアとの出会いでした。



STORY



日本から自費で単身勉強に来た熱意や向上心を買われ、秋吉は帰国時、ケアの考案者、S・スコット氏から、「日本でも広めてほしい」という言葉とともにテキストやビデオの教材一式を託されて、普及を決意。しかし、インターネットもまだほとんど普及していない時代、キャリアも肩書きもない主婦が、自分以外には誰も知らないケアをゼロから普及するのは、決して簡単な道のりではありませんでした。

施設訪問ボランティアを1人で始めてケアの素晴らしさを少しずつ知ってもらい、ボランティアを増やすために日本語版テキストを製作し、教授法を構築。何度も分厚い壁にぶつかりながら、無我夢中で走り続けてきました。

それから約20年。その間、秋吉は大学教授との共同研究による科学的検証の成果を反映させるなどケアの質を高める努力を続け、現在では複数の短大の授業にも取り入れられるようになりました。団体としても北海道から沖縄まで全国に約800人の会員を擁する認定NPO法人となり、理事長職も後任に譲りました。

けれど、時間が経ち組織は大きくなって、当協会では、秋吉がセラピューティック・ケアに出会った1999年9月7日の感動と想いを忘れずにいたいと思っています。そこで、原点と初心を未来へと大切につないでいくために、9月7日を「セラピューティック・ケアの日」と定め、さまざまなイベントを実施します。

#9月7日はセラピューティックケアの日



認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会

☎818-0125 福岡県太宰府市五条 2-6-1-202

☎092-928-1546 ✉info@therapy-care.net



ハッシュタグキャンペーンにご協力ください

